

令和4年2月6日

自主企画イベントの開催

東放学園音響専門学校 音響芸術科 1-F 一條 光

目次

1. イベントを行うきっかけ
2. 目標
3. 公演概要
4. ブッキングについて
5. 出演アーティスト
6. 宣伝・告知
7. 当日の流れ
8. 反省・改善
9. 今後について
10. 感想・まとめ

1. イベントを行うきっかけ

知り合いの方に音楽業界関係のアルバイトがしたいと言ったところ、SHIBUYA DIVEとSHIBUYA CLUB CRAWLの店長を紹介して頂いた。その際にブッキングの話を聞いて、興味を持った。その後実際にSHIBUYA CLUB CRAWLでアルバイトを始め、自主企画イベントを開催させて貰えることになった。

2. 目標

イベントを行うにあたり、黒字のイベントにするための目標を定めた。

目標金額：70,000円

目標動員数：30人

（アルバイト先のライブハウスなので、ハコ代等は無し）

3. 公演概要

公演日：2021年11月26日（金）

開場：SHIBUYA CLUB CRAWL

イベント名：「at first sight」

イベント概要：「ひと目見て（一聴して）」いいなと思ったアーティストをブッキングしたということと、来てくださったお客さんにも「ひと目見て（一聴して）」好きになってもらえるライブ

出演：伊藤純平(Fusee)、岡尚生(Edison's Toy Box)、Ryu Sakurada(HALZION)、坂根涼太(灰かぶり)

開場：19:00 開演：19:30

チケット：各アーティスト取り置き

料金：取り置き ¥2,000- / 当日 ¥2,500- 別途1ドリンク(600円)

情報解禁：2021年10月30日（土）21時

入場順：整列順

お問い合わせ：Web <https://bighitcompany.com/crawl/>

Tel 03-3498-3113

※再入場不可、全館禁煙、撮影禁止

4. ブッキングについて

今回は初めてのブッキングということもあり、条件については店長に決めて貰った。
全バンド機材費 ¥2,500-

声をかけたアーティスト

- ・ Bye-Bye-handの方程式（ノルマなし 1人目から30%バック）→NG
- ・ CENTRAL DOGMA（ノルマなし 7人目から30%バック）→NG
- ・ CHAWA（ノルマなし 6人目から30%バック）→NG
- ・ chie（ノルマなし 7人目から30%バック）→NG
- ・ FANCY GIRL CINEMA（ノルマなし 6人目から50%バック）→返信なし
- ・ Gum-9（ノルマなし 6人目から50%バック）→返信なし
- ・ Lenalee（ノルマなし 1人目から50%バック）→NG
- ・ LOFT（ノルマなし 6人目から50%バック）→NG
- ・ Midnight 90's（ノルマなし 6人目から50%バック）→NG
- ・ Rock In The Pocket.（ノルマ 6枚 7人目から30%バック）→出演決定!!
- ・ Sunny Girl（ノルマなし 6人目から30%バック）→返信なし
- ・ Shu Yamazaki（ノルマなし 1人目から50%バック）→NG
- ・ 光季（友達経由で連絡）→NG
- ・ 汐おん（ノルマなし 1人目から50%バック）→NG
- ・ 月と徒花（ノルマなし 1人目から30%バック）→NG
- ・ 鉄風東京（ノルマなし 1人目から30%バック）→NG
- ・ 灰かぶり（ノルマなし 6人目から30%バック）→NG
- ・ フリコニー（連絡のみ）→NG
- ・ ミユタ（ノルマなし 1人目から50%バック）→NG
- ・ ミルクマール（ノルマなし 1人目から50%バック）→NG
- ・ ユウキシロ（連絡のみ）→返信なし

公演日が近づくにつれて、バックの基準を下げて声をかけた。

バンドではなかなか決まらず、友達にも声をかけて貰ったり、東放の先輩や弾き語りの方にも声をかけたが決まらなかった。

さらに、出演が決定していたRock In The Pocket.のVo.が声帯ポリープを患ってしまい、出演出来なくなってしまった。

店長が弾き語りで、伊藤純平(Fusee)、岡尚生(Edison's Toy Box)、Ryu Sakurada(HALZION)の3名に声をかけてくださって、出演していただけることになった。

灰かぶりのVo.の弾き語りでの出演をOKしてくれて、弾き語りでの計4組の公演となった。

結果的に自分では1組しかブッキングすることが出来なかった。

5. 出演アーティスト

伊藤純平(Fusee)

東京発4ピースロックバンドFuseeのVo.&作詞作曲を担当している。

2020 RO JACK 4月入賞

Eggs レコメン

にも選ばれている。

2021/4/22 1st EP「Raft.」リリース

弾き語りでの活動も積極的に行なっている。

木耳と銭湯（サウナ必須）が好き。



岡尚生(Edison's Toy Box)

東京発2ピース（Gt.Dr.募集中）ロックバンド Edison's Toy BoxのVo.を担当している。

「日常を音楽に詰め込んで唄う」をコンセプトに活動をしている。

2021/5/15 1st EP 「日常をおもちゃ箱に詰め込んで」リリース

弾き語りでの活動も積極的に行なっている。

富山県氷見市出身。



Ryu Sakurada(HALZION)

東京町田発3ピースロックバンドHALZIONの Gt.Vo.を担当している。

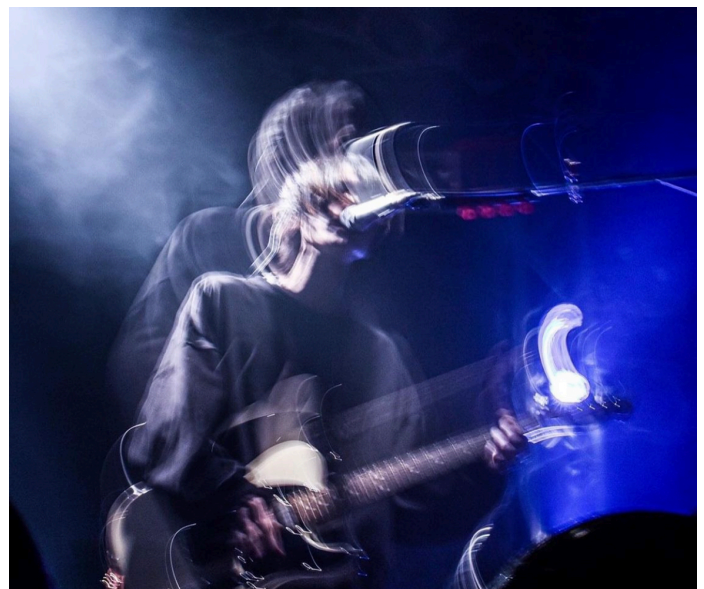
「貴方の代わりに、貴方を歌う」をコンセプトに活動している。

2020年12月26日 1st EP「Prologue」リリース

弾き語りは今後積極的に行なっていく予定。

ひとりの時に聴きたくなる優しい曲を作っていくのが目標。

坂根涼太(灰かぶり)



東京発4ピースポップロックバンドの灰かぶりのGt.Vo.を担当している。

「日常に寄り添う言葉とメロディ、そしてボーダレスなサウンドで紡ぐ」がキャッチコピー。

2022年1月14日 1st EP「NEIGHBOR」リリース
「at first sight」が弾き語りデビュー!!

2022年3月13日(日)

EPレコ発イベント「NEIGHBOR OF CINDER」
をSHIBUYA CLUB CRAWLで開催予定。



6. 宣伝・告知

宣伝・告知用にフライヤーを作成した。
(スマホのアプリPicsartで作成)

こだわり

- ・渋谷のライブハウスということで、ビルの夜景を背景にした。
- ・あえて星空ではなく、雲がかった空にした。
- ・タイトルとアーティスト名を中心に目立つようにした。
- ・初めての主催イベントだから、firstをタイトルに入れたくて、色を変えてそこを目立たせた。

SNSでの宣伝

各アーティストによる、TwitterやInstagramでの宣伝を中心に、ライブハウスのホームページにも掲載した。
私はTwitterをやっていなかったので、Instagramでのみ宣伝した。

7. 当日の流れ

私はリハーサルの1時間前に入り、流れの確認をしつつ演者さんがいらっしゃるのを待ち、



いらっしゃったら、初対面の方もいたので
自己紹介を含めた挨拶をした。
リハーサル後の顔合わせでは、司会進行として
演者さんの紹介やスタッフの紹介をして、
流れや注意事項を説明した。

開場した後は、演者さんや動員の様子を見ながら
時間通りに開演出来るか確認し、オンタイムでス
タート出来た。

開演中はライブを見て、転換中は時間や動員を
確認して円滑に進むようにした。

ライブ終了後は物販を見守りつつ、時間通りに
客ハケするようにアナウンスをした。

客ハケ後、中打ちの準備をしたり、楽屋の清掃
をして、乾杯の挨拶をした。

中打ち中に順次精算に立ち会った。

中打ち後はフロアなどの清掃を行い、終了。



当日は以下のタイムテーブルに従って行動した。
大幅に押したり巻いたりすることなく公演を行うことが出来た。

REHEARSAL					
※各出演者、リハ時間の30分前入り					
			③リハなし		
17:30	～	17:50	④伊藤純平 (Fusee)	20	min
17:50	～	18:10	②Ryu Sakurada (HALZION)	20	min
18:10	～	18:30	①坂根涼太 (灰かぶり)	20	min
18:45			開場準備/顔合わせ		
LIVE					
19:00			OPEN		
19:30	～	19:55	①坂根涼太 (灰かぶり)	25	min
set	5	min			
20:00	～	20:25	②Ryu Sakurada (HALZION)	25	min
set	10	min			
20:35	～	21:00	③岡尚生 (Edison's Toy Box)	25	min
set	5	min			
21:05	～	21:30	④伊藤純平 (Fusee)	25	min
21:40			物販終了/客ハケ		

8. 反省・改善

最大の反省点はブッキングでなかなかOKが貰えず、バンドのイベントにするつもりだったものが、弾き語りのイベントとなってしまったことと、

(結果的に弾き語りのライブも素晴らしかったので良かった。)

最初に設定した目標に届かなかったことだと思う。

目標が30人の動員と70,000円の売り上げだったけど、実際には動員11人で、約30,000円の売り上げで、全然届かなかった。

動員が増えなかった原因としては、ブッキングが思うようにいかず情報解禁した段階では2組しか決まっていなくて、公演の数日前まで最終的な出演者が決まらなかった為に、告知や宣伝が充分では無かったことが挙げられる。

改善するには、もっと多くのアーティストに声をかけることが重要だと思った。

メールを送るだけでなく、実際に色んなライブを観に行って、いいなと思ったアーティストに直接声をかけたり、普段のバイトでCRAWLに来るバンドをチェックしておくことで少しでも声をかけられるバンドを増やすことも意識したい。

動員を増やすためには、早い段階で出演者を確定させた上で情報解禁をするべきだということと、私自身の宣伝力も足りなかったと思うから、もっとSNSを活用しようと思った。

私のInstagramは鍵アカウントで友達しか見ることが出来ないなので、Twitterを開設して、私が告知したら誰でも見られるようにした。

また、もっとたくさんの人の目に留まるような魅力のあるフライヤーにする為に、スマホのアプリ(無課金)ではなく、Illustratorなどで作りたいと思った。

9. 今後について

今回のイベントで学んだことや反省点などを活かして、また自主企画をしたいと思い、店長と相談して、2回目のイベントを行うことが決まった。

更に数ヶ月前から、同じ東放の音芸クラスの友達が2人CRAWLに入ってきたので、その2人と一緒に合同での企画をすることになり、ブッキングに取り掛かった。

次回のイベントは3月に行う予定であり、現段階で3組のバンドの出演が決定している。

今回弾き語りで出演して頂いた坂根さんにバンド(灰かぶり)として出演していただくことが決まっており、ポリープにより出演キャンセルとなったRock In The Pocket.と、声をかけたがNGだったLenaleeに次回のイベントには出演して頂けることとなった。

また、次回のイベントでは学割や東放学園割を設けて、もっと気軽に足を運んでもらえるイベントにして、SNSでもしっかりと宣伝して動員を増やし、今回の目標を今度こそ達成出来たらいいと思う。

10. 感想・まとめ

まず、無事にイベントを行うことが出来て本当に良かった。当日のイベントが終わってライブハウスを出た瞬間に安堵感と達成感が同時に湧いてきた。それまではずっと緊張していたし、不安しか無かった。自主企画をやると思った時は、まだライブ制作実習の授業も始まっていなかったから、ほぼ何も分からない状態でスタートして、イベントをやるという実感も湧かないままずっと準備を進めていた。だんだん公演日が近づくにつれて焦りが出てきて、ブッキングが思うようにいかないことがストレスになり、バイト自体を辞めたくなったりもしたけど、最後までやり切った達成感は、今までにないものだった。

そしてまたやりたいと思い、実際にやらせて貰えることになって嬉しかった。

次回は3人の共同企画が出来るということで、今回よりもパワーアップしたイベントになることは間違いないと思うから、精一杯頑張りたいと思う。

1人では何も出来なかったのも、今回のイベントを開催するにあたり、助けてくださった小池さん（店長）、CRAWLスタッフの神山さんと倉重さん、音響のまさこさん、照明のだよしさん、ドリンクをしてくれたちゃんみの、ブッキングを手伝ってくれた友達、そして演者さんとお客さんに心から感謝したいと思った。